

JPI-7R-35-2004 (第1刷) の正誤表

(スカートをもつ塔さう類の強度計算)

2006.06.19 公開

10 頁

2.2	c) 短期許容引張応力 (f_c)	d) 長期許容引張応力 (f'_c) (誤)
-----	-----------------------	----------------------------



“引張”を“圧縮”に修正

2.2	c) 短期許容圧縮応力 (f_c)	d) 長期許容圧縮応力 (f'_c) (正)
-----	-----------------------	----------------------------

2006.06.19 公開

2006.04.10 公開

3 頁の最後の 2 行

ただし、**3)**、**4)**においてオーステナイト系ステンレス鋼に対しては、**0.2%**耐力の**100%** (誤)

修正

3)を削除

ただし、**4)**においてオーステナイト系ステンレス鋼に対しては、**0.2%**耐力の**100%** (正)

5 頁の最初の 2 行

上記と同様

28 頁の改訂内容の上から 7 升目

短期の許容基準応力 σ_s の説明のうち、「ただし、オーステナイト系ステンレス鋼に対しては **0.2%**耐力の**100%**」に「**3)**、**4)**において」を追記。(誤)

修正

3)を削除

短期の許容基準応力 σ_s の説明のうち、「ただし、オーステナイト系ステンレス鋼に対しては **0.2%**耐力の**100%**」に「**4)**において」を追記。(正)

28 頁の改訂内容の上から 12 升目

耐圧部に直接溶接されるスカートの部分の短期の許容基準応力 σ_s の説明のうち、「ただし、オーステナイト系ステンレス鋼に対しては **100%**」に「**3)**、**4)**において」を追記。(誤)

修正

3)を削除

耐圧部に直接溶接されるスカートの部分の短期の許容基準応力 σ_s の説明のうち、「ただし、オーステナイト系ステンレス鋼に対しては **100%**」に「**4)**において」を追記。(正)

2006.04.10 公開

2006.02.03 公開

26 頁

参考 5 表 1 内の

誤

$$\left(\frac{H}{D-6}\right)$$



正

$$\left(\frac{H}{D}-6\right) \text{ (3箇所)}$$

2006.02.03 公開

c) ガゼットプレート必要板厚 (取り付ける場合) : t_6

$t_6 = \frac{P}{25.3\ell} = \text{_____ mm (誤)}$	修正 →	$t_6 = \frac{P}{248\ell} = \text{_____ mm (正)}$
--	------	---

「25.3」を「248」に修正する。

4.1 風荷重

② 風力係数 (C_f) は、塔そう類の形状係数であり、円筒形の場合には建設省告示第 1454 号第三項の図七および表九に従い、以下のように算定する。

H/B	(1) 1 以下の場合	(2) 1 を超え、8 未満の場合	(3) 8 以上の場合
C_f	0.7kz	(1) と (3) とに掲げる数値を直線的に補間した数値	0.9kz

ここで、 H : 塔そう類の高さ (m)

追加 → ただし、架構上に据え付けられた塔そう類の場合には、 C_f の計算では塔そう類の長さを、 kz の計算では地表面から塔そう類の最高位高さとする。

B : 保温された塔そう類の外径 (m)

kz : 次に掲げる表によって計算した数値

H が Z_b 以下の場合	1 以下の場合	1.0	誤
H が Z_b を超える場合	Z が Z_b 以下の場合	$(Z_b/H)^{2\alpha}$	
	Z が Z_b を超える場合	$(Z/H)^{2\alpha}$	

修正 → 「1 以下の場合」と「縦の罫線」を削除

H が Z_b 以下の場合	1.0	正
H が Z_b を超える場合	Z が Z_b 以下の場合	
	Z が Z_b を超える場合	$(Z/H)^{2\alpha}$

ここで、 Z_b : ⑤の表に掲げる値

「 α_b 」を「 α 」に修正

α_b : ⑤の表に掲げる値 (誤)
修正
 α : ⑤の表に掲げる値 (正)

Z : 当該部分の地表面からの高さ (m)

V . フランジの計算

$$P_e = \frac{1600M}{\pi G^3} - \frac{4W}{\pi G^2} \quad \text{誤} \dots\dots\dots (14)$$



左の式は SI 単位、右の { } 内の式は従来単位の式を示す。

$$P_e = \left[\frac{1600M}{\pi G^3} - \frac{4W}{\pi G^2} \right] / 100 \quad \left\{ P_e = \frac{1600M}{\pi G^3} - \frac{4W}{\pi G^2} \right\} \dots\dots (14)$$

フランジの設計圧力は

正

$$P = P_e + P_a$$

ここに、 M : モーメント荷重 (N・m) {kgf・m}

G : ガスケット中心円の直径 (cm)

W : 静荷重 (N) {kgf}

P_e : 等価圧力 (Pa) {kgf/cm ² } P : フランジの設計圧力 (Pa) {kgf/cm ² } P_a : 内圧力 (Pa) {kgf/cm ² }	誤
--	---



「Pa」を「MPa」に修正 (3箇所)

P_e : 等価圧力 (MPa) {kgf/cm ² } P : フランジの設計圧力 (MPa) {kgf/cm ² } P_a : 内圧力 (MPa) {kgf/cm ² }	正
---	---